

Mémoires 2018

天皇賞(春)



第157回天皇賞(春)(GI) 優勝馬 レインボーライン

大願成就

キタサンブラックが去った長距離界の王座を争う一戦は、出走馬中唯一のGI馬、6歳のシュヴァルグランが中心。それを前哨戦の阪神大賞典を完勝して本格化を印象づけたレインボーライン、条件戦からの連勝で日経賞を制してきたガンコ、さらには前年の菊花賞2着馬クリンチャーといった勢いに溢れる4、5歳勢が追う形となった。

レースは「逃げ宣言」をしていたヤマカツライデンが先導し、縦長の展開で進んだ。一時は10馬身以上も後続を引き離す“大逃げ”の態勢となったヤマカツライデンだが、3コーナーあたりで失速。一気に後続が差を詰めていく。馬群がひとかたまりになって横に広がる中、終始、先団でレースを進めてきたシュヴァルグランとガンコが並んでヤマカツライデンを交わしながら4コーナーを回った。

直線に入るとシュヴァルグランがガンコを競り落とし、なおも伸びる。早々と先頭に立ったこの1番人気馬を、内からミッキーロケット、外からはクリンチャーが追う。残り200mを過ぎ、このままシュヴァルグランが粘りきることかと思われた瞬間、後続の間を割るように鋭く追い込んできたのがレインボーラインだった。

道中は後方でじっくり追走し、徐々にポジションを上げていったレインボーラインは、直線で他馬よりワテンポ遅れる形でスパート。内に進路を取ると目のさめるような末脚を繰り出してシュヴァルグランに迫っていく。一気に並んで交わり、クビ差、前に出たところがゴールだった。

ここまでNHKマイルカップ3着、菊花賞2着、天皇賞(秋)3着などがありながら、GIタイトルには手が届かなかったレインボーライン。父ステイゴールド譲りの成長力で、10度目のGI挑戦にしてついに悲願を達成した。

ゴール直後に歩様を乱したレインボーラインは、そのまま右前肢跛行で休養入り。そして後日、あらためて浅屈腱の不全断裂という診断が下り、惜しまれながらターフを去ることとなった。叶わなかった長距離界の王者としての活躍を、今度は種牡馬として、その産駒に託す。

▶10度目のGI挑戦で、栄冠を手にしたレインボーライン。



▲4コーナー、レインボーライン(帽色・緑・右)は後方で機をうかがう。

第157回天皇賞(春)(GI)

4/29 京都競馬場 3200m(芝・右・外) 晴・良 17頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	レインボーライン	牡5	58	岩田 康誠	浅見 秀一	3:16.2	②	⑩⑩⑩⑩⑩⑩
2	シュヴァルグラン	牡6	58	H. ボウマン	友道 康夫	クビ	①	④③②②
3	クリンチャー	牡4	58	三浦 皇成	宮本 博	1/2	④	⑦⑦④③
4	ミッキーロケット	牡5	58	和田 竜二	音無 秀孝	クビ	⑨	⑦⑦⑦⑧
5	チェスナットコート	牡4	58	蛸名 正義	矢作 芳人	3/4	⑦	⑨⑨⑧⑥
6	トーセンバジル	牡6	58	M. デムーロ	藤原 英昭	1 1/2	⑧	⑩⑩④③
7	スマートレイアー	牝8	56	四位 洋文	大久保龍志	1/2	⑫	⑩⑦⑦⑦⑩⑤
8	アルバート	牡7	58	C. ルメール	堀 宣行	ハナ	⑥	⑬⑩⑧⑧
9	シホウ	牡7	58	浜中 俊	笹田 和秀	2 1/2	⑭	⑮⑮⑬⑩⑫
10	ヤマカツライデン	牡6	58	松山 弘平	池添 兼雄	1/2	①	⑪⑪⑪③
11	トウシンモンステラ	牡8	58	国分 恭介	村山 明	クビ	⑯	⑯⑯⑯⑯⑯
12	サトノクロニクル	牡4	58	川田 将雅	池江 泰寿	3/4	⑤	⑫⑫④④⑥
13	ソールインパクト	牡6	58	福永 祐一	戸田 博文	3	⑬	⑯⑮④⑧
14	ガンコ	牡5	58	藤岡 佑介	松元 茂樹	1/2	③	③③②①①
15	ピンボン	牡8	58	宮崎 北斗	粕谷 昌央	1/2	⑯	⑭⑭⑬⑬⑫
16	カレンミロティック	騾10	58	池添 謙一	平田 修	1 1/2	⑩	⑮⑮⑮⑮⑫
17	トミケンスラヴァ	牡8	58	秋山真一郎	竹内 正洋	大差	⑮	⑫⑫⑬⑬⑭

単勝 ②600円 複勝 ②190円 ①140円 ③240円 枠連(6-6)1,020円
 馬連①-②1,030円 馬単②-①2,510円 ワイド①-②400円 ③-①2810円 ⑧-①530円
 3連複 ⑧-①-②2,060円 3連単 ②-①-③11,650円

ハロンタイム 13.0-11.2-11.4-12.0-12.5-12.3-12.0-13.2-12.6-12.6-12.8-12.6-12.1-11.4-12.4
 通過タイム 600m ③35.6-800m ④47.6-1000m ①1:00.1-1200m ①1:12.4-1400m ①1:24.4-1600m ①1:37.6-1800m ①1:50.2-
 2000m ②2:02.8-2200m ②2:15.6-2400m ②2:28.2-2600m ②2:40.3-2800m ②2:52.4-3000m ③3:03.8

優勝馬 レインボーライン

2013.4.1生 父ステイゴールド 母レーゲンボーゲン 母の父フレンチデビューティ
 安平・ノーザンファーム生産 馬主：三田昌宏氏